

# 大障教ニュース

大阪府立障害児  
学校教職員組合  
大阪市天王寺区  
東高津町7 11  
府教育会館704号  
(TEL)6765-8904  
(FAX)6765-8905

## ただちに新たな学校建設計画の策定を

### 対府交渉

### 大阪の障害児教育をよくする会

10月24日、大阪の障害児教育をよくする会「よくする会」の対府交渉が大阪赤十字会館で実施され、24人が参加しました。主なやりとりについてお知らせします。

#### 新たな学校建設計画策定

北河内地域の保護者が、開校3年目の枚方支援の教室不足により、小学部と中学部のホームルーム教室のエリアが混在してきている実態などを訴えました。八尾支援の保護者は、圧縮学級が常態化している中学部、高等部に加え、小学部でも圧縮学級となっている実態を示し、東大阪市内への知的障害支援学校建設の必要性を訴えました。

岸和田・泉南よくなる会の保護者も、卒業する小学6年生が10数名なのに比べ、1年生が35人となった佐野支援の実態を示し、岸和田・貝塚地域での新校設計計画を検討するよう求めました。

また、四條畷校の保護者が、文科省が公表した「公立特別支援学校における教室不足調査平成28年度(結果)」の大阪府の「教室不足数」(2016



牧野会長による要望書の提出

年10月1日現在)が、8教室しかないことを示し、「私たちの切実な思いが届いていないことをすごく感じて残念だ」と訴えました。

どの地域の保護者からも、今後の教育環境のあり方を検討するにあたり、各地域の「よくする会」の懇談を実施するよう強い要望が出されました。府教委は、「将来推計の結果を踏まえ、今後の教育環境のあり方について、各校の状況把握も行いながら、平成29年度中をめどに対応策を検討していく」と基本回答しました。地域ごとの懇談実施についても検討していきたい」と述べるにとどまりました。

#### 通学区区域割は、福祉圏域・生活圏域を守って

西浦支援の保護者が、これまで通っていた放課後デイサービスを利用できなくなつたケースなどを示し、堺市を通学区に加えたことの問題点を訴えました。この他、小中高等部の一貫教育が受けられない生徒と、受けられない生徒

しかし、府教委は「市町村教育委員会や学校の意見をうかがいながら、施設規模や通学バス乗車時間等を考慮し、毎年府教育委員会が定めている」などの基本回答にとどまりました。

#### 四條畷校の独立校化

四條畷校の独立校としての位置付けについて府教委は「府全体の今後の児童生徒数の動向を見通したところ、平成27年度に完了した新校整備によつても、なお対応が必要

四條畷校の保護者は、「生徒増の中で、なぜ3階を閉鎖したのか、どうしてスプリングラーがつかないのか、疑問だ。無駄なお金を使っているのではないか」と思うなどと府教委の姿勢を強く批判しました。

#### 発達障害等の子どもたちへの教育保障

障害児学級の保護者は、支援学級在籍者を含めると、35人・40人の定数を超える通常学級をなくすための具体的施策を行うよう求めました。また、不登校や学習障害への個別の配慮が全くなされてい

設置を促進し、障害のある児童生徒へのきめ細やかな指導・支援の充実に努めていく」との基本回答にとどまりました。

府教委は、「加配措置を含めた人的支援等について国に強く要望するとともに、引き続き障害種別による支援学級の



大障教ホームページアドレス <http://www1a.biglobe.ne.jp/fushou/> Eメール アドレス : fushoukyou\_1@mtb.biglobe.ne.jp



財務省が、教育無償化・負担軽減について、大学など高等教育の全面無償化は財政悪化につながるため「適切ではない」として、一部の学生や大学に絞るよう求める提言をとりまとめた。財務省は提言の中で、高等教育の全面的な無償化は「高所得者にも受益が及んでしまつたため格差をかつて拡大する」と主張しています。

また、大学授業料を国が一時的に肩代わりする「出世払い」についても、格差解消につながらず、「コスト面で非効率などとして反対しました。低所得世帯への負担軽減措置は、実質的に奨学金のみです。しかも、高卒で就職した人との、世代内の不公平感を高めないように」として、支給条件の厳格化を要求しています。

さらに負担軽減のためには、大学にも相応の負担を求めるとして、定員割れや赤字経営の大学に関しては、単なる経営支援にならないようにする制度設計を求めました。

教育に対する公的支出の国内総生産に占める割合が、経済協力開発機構(ECD)加盟国中、8年間で7度最下位だったことについては、「在学者一人当たりで見れば、遜色ない」と言い訳しています。

財務省はこの提言を、財務大臣の諮問機関である財政制度等審議会に提出し、2018年度予算編成に反映させる方針です。

安倍首相は総選挙期間中、「人づくり革命」と称して、真に経済支援が必要な子どもへの高等教育無償化や、幼児教育の無償化などのために、2兆円規模の政策を実施すると表明していました。こうした国民への公約が、選挙後10日も経たないうちに、早速縮小されることになりそうです。

ブロック別  
学習会  
シリーズ

市内ブロック教研

「教育実践・子どものこと・制度のこと」

権利のこと...」を交流しました！

9月1日、市内ブロック教研を行い、7分会11名が参加しました。前半は東住吉支援分会の平部淳一先生が「教育実践・子どものこと・制度のこと・権利のこと...」と題して講演。障害児教育の現場で働き始め、右も左もわからず困っていたとき、組合の先生が「一緒に勉強しよう」と誘ってくれ学習会に行ったこと、話を聞

いて共感してくれ、子どもの成長を喜び合える仲間と組合で出会ったこと、たくさんの実践を見て考える機会やネタをもらったことを話されました。また、ほめてくれる仲間がいると学びの意欲が湧き出てくることや、元気が出る仲間、信頼できる仲間が組合にいることをご自身の体験に重ねて語られました。私たちの当たり前のねがいー健康で働き暮らせる社会、子どもたちの幸せーを実現するために仲間とともに運動をしていきましよう、先生独特のあたたかく面白い口調で語られました。



後半は若い先生から、日頃思っていること、悩んでいることを出してもらいました。「子どもに対するきつい言葉かけを聞くと、おかしいと思いがちでもそれを指摘することができない」「ベテラン層が少ないと、保護者対応などでとっさの判

断ができないことがあった」など、どこの職場でもあると思われる悩みが出され、若手からベテランのみんな

で意見を出し合いました。最後に若手からの「若者に言いたいことは何ですか？」の質問に、平部先生が「たくさん仲間を作りましよう！」と即答。みんなが頷き、あつという間の2時間が終了しました。



熱心に学習する参加者

参加者の感想です！

- 思っていることが言えてよかったです。
- みんなの意見をまず受け入れる先生がステキだと思いました。
- 言いたいことが言える会がいいですね。終了後に懇親会ができたら楽しいですね。
- 平部先生のような魅力的な先生になったら、組合員が増えていくのかなと思いました。
- 平部先生と一緒に働きたいと思いました。次回はウクレレお願いします。
- 大人になっても認めてもらいほめられると嬉しいなど、根本的に大事なことをお話いただけました。「青年とベテラン」に関する話は特に興味深かったです。
- いろいろなテーマで交流したいです。

分会紹介

分会名：枚方支援学校分会  
分会長：佐々木起美子  
障害種別：知的障害  
児童生徒数：373人

第10回

どんな分会？：今年で開校3年目を迎えた新しい学校です。「多くの人々の願いの詰まった枚方支援学校を、いい学校にしていこう！」と、初年度の4月に分会を立ち上げました。学期に一度は集まって昼食会をしたり、バレーやソフトの大会に参加したりと楽しく活動しています。また、多忙化や教室不足の状況が深刻で、アンケートなどでみなさんの声を集めて校長と話し合いの場を持ったりしています。毎日本当に慌ただしいですが、よりよい教育、より働きやすい職場をめざして地道にがんばっています。

第17回 全国障害児学級&学校  
学習交流集会 in 奈良

日程：1月6日(土)～8日(月)

昨年の北海道に続いて

今年度も参加したいと思っています！毎年、実践分科会では、全国でがんばっておられる先生方のレポート発表を聞くことができ、とても刺激を受けています。今年は奈良ということで、近場で学べるチャンスですね！

6日：全体会(奈良県文化会館国際ホール)  
記念講演「子どもの気持ちの育ちと発達保障」  
講師：丸山啓史さん(京都教育大学)



松石江梨香  
(東大阪支援学校分会)